**資料１**

大阪府がん対策推進委員会

各部会の活動状況について

○　がん検診部会　　　　　　・・・・・・・・・１

○　がん診療連携検討部会　　・・・・・・・・・３

○　がん登録等部会　　　　　・・・・・・・・・６

○　小児・AYA世代のがん対策部会・・・・・・・７

○　肝炎肝がん対策部会　　　・・・・・・・・・８

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **がん検診部会**  **【主な審議・検討内容】**   * **第１回：平成30年8月30日**   **１．指針に基づくがん検診の実施**  （１）がん検診の精度管理に関する取組み  ≪概要≫   * 精検受診率が許容値を下回る市町村に対し、改善を促す通知文を発出。 * 精検受診率が目標値を上回る市町村に対し、好事例展開の協力を依頼する通知文を発出。   ⇒ 承　認  （２）「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づくがん検診の実施  ≪概要≫  府内市町村が対策型検診として実施する検診について、指針に基づき適切に実施するよう、通知文を発出。  ≪主な意見≫   * 「検診の利益が不利益を上回るとは言えない検診は控えるべき」という趣旨が伝わらない。   ⇒ 一部修正のうえ発出することで承認  **２．平成30年度がん検診受診率向上等に関する取組み**  ≪概要≫  がん検診受診率向上、精度管理に関する技術的支援、がん検診を含めた健康づくりの機運醸成など、今年度の府の取組みを報告。  **３．その他**  （１）職域におけるがん検診  ≪主な意見≫   * 職域に関しては、受診率等の実態が全国的に把握できる仕組みがないことが問題。 * 府だけで取り組むには限界があるため、国全体の動きが必要。 * **第２回：平成31年2月25日**   **１．第３期大阪府がん対策推進計画におけるアクションプラン及びPDCA進捗管理**  （１）第３期アクションプラン  ⇒ 承　認  （２）平成30年度の取組状況（PDCA進捗管理）  ≪主な意見≫   * 事業実施によるがん検診受診率等の指標の変化を評価すべき。 * これまで実施してきた受診率向上事業の効果を検証し、今後に活かすべき。   ≪今後の対応≫   * 評価すべき指標について検討する。   **２．がん検診受診率向上等に関する取組みについて【資料１－２】**  ≪概要≫  平成３１年度に、市町村がん検診受診率の向上に有効と考えられるモデル事業を実施したうえで、それらの効果検証を行うとともにマニュアル化し、各市町村へ展開。  （モデル事業例）   * 母子事業連携の受診勧奨 * 大腸がん検診キット事前送付 等   ≪主な意見≫   * 各事業とも、費用対効果も含めて、客観的なデータに基づく効果検証行うべき。   ≪今後の対応≫   * 費用対効果も含めた効果検証を行い、マニュアルを作成。   **【委員名簿】**※は部会長（50音順、敬称略）   |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | | 氏　名 | 出欠 | | 職　　名 | | 第1回 | 第２回 | | 稲治　英生 | ○ | × | 市立貝塚病院　名誉院長 | | 加納　康至 | ○ | 〇 | 一般社団法人　大阪府医師会副会長 | | 上浦　祥司 | ○ | 〇 | 地方独立行政法人　大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 婦人科主任部長 | | ※ 祖父江友孝 | ○ | 〇 | 国立大学法人 大阪大学 大学院医学系研究科 社会医学講座環境医学 教授 | | 西田　　博 | ○ | × | 医療法人 城見会  アムスニューオータニクリニック 医師 | | 本郷　仁志 | ○ | × | 医療法人 祥佑会　藤田胃腸科病院　理事長・院長 | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **がん診療連携検討部会**  **【主な審議・検討内容】**   * **第１回：平成３０年９月６日**   **１．国指定がん診療連携拠点病院の整備指針の改正及び推薦の方針**  ≪概要≫  府から国に国指定がん診療連携拠点病院推薦を行うにあたり、募集及び推薦の方針を決定。  （指定更新推薦）   * 既指定病院は、国の指定要件を満たしていれば更新の推薦を行う。   （新規指定推薦）   * 全圏域で募集。 * 要件を全て満たしていることに加え、他の既指定病院との相乗効果について説明を求める。 * 部会における審査で相乗効果が極めて高く、国の指定が認められる可能性が高いと考えられる場合に推薦を行う。   ⇒ 承　認  **２．地域がん診療連携拠点病院（高度型）の推薦の方針**  ≪概要≫  府から国に地域がん診療連携拠点病院（高度型）の推薦を行うにあたり、募集及び推薦の方針を決定。   * 既指定病院を対象とする。 * 要件の「診療実績が圏域において最も優れている」については、部会において審査を行う。   ⇒ 承　認   * **第２回：平成３０年１１月２６日**   **１．国指定がん診療連携拠点病院の指定更新の推薦**  ≪概要≫  既指定病院（都道府県がん診療連携拠点病院１病院、地域がん診療連携拠点病院 １６病院）の指定更新に係る推薦について審議。  ⇒ 全ての既指定病院の推薦を行うことで承認。  **２．地域がん診療連携拠点病院（高度型）の推薦**  ≪概要≫  既指定病院のうち高度型として申請があった１０病院の推薦について審議。  ⇒ ４病院（４圏域）の推薦を行うことで承認。  **３．地域がん診療連携拠点病院の新規指定推薦**  ≪概要≫  新規指定申請があった病院の推薦について審議。  ≪主な意見≫   * 相乗効果が弱いのではないか。 * 他病院と統合予定があるため、統合により、がん診療機能がより充実した後に推薦をした方がよいのではないか。   ⇒ 推薦を見送ることで承認   * **第３回：平成３１年２月２６日**   **１．府指定がん診療拠点病院の指定要件の見直しの方向性**  （１）府拠点病院の指定要件の見直し  ≪概要≫  国拠点病院の指定要件の改正を受け、府拠点病院の指定要件を見直し。   * 新要件に基づく府の拠点病院の指定期間を２０２０年４月からとするため、 ２０１９年夏頃を目途に指定要件の見直しを行う。 * 国拠点病院の指定要件の見直しの考え方に準じ、府拠点病院の指定要件を見直す。 * 既府指定病院については、一定の経過措置を設ける。 * 必要に応じてＷＧにおいて議論。   ≪主な意見≫   * ネットワーク協議会への積極的な協力を指定要件に加え、ネットワーク協議会の活発化を図ってはどうか。 * 府拠点病院の緩和ケアの診療実績にバラつきが見られるため、緩和ケア推進ワーキングで精査する必要がある。   ⇒ 承　認  （２）府拠点病院（小児がん）の新設  ≪概要≫  小児がん医療の連携・協力体制、相談支援、情報提供、長期フォローアップ体制の充実を図るため、府の小児がん拠点病院を設置。なお、指定要件は国の要件に準じて設定。  ⇒ 承　認  （３）肺がん以外の特定のがん種に特化した病院及び診療所の指定  ≪概要≫  府内のカバー率増、がん医療の質の底上げを目的として、肺がん以外のがん種（乳がん等）に特化した病院や診療所も府として指定してはどうか。  ≪主な意見≫   * 拠点病院以外で診療を受ける患者も適切な医療を受けられるよう、府の指定範囲を広げ、府全体の医療の質のレベルアップをすべき。 * 単に症例件数が多いというだけで指定するのではなく、緩和ケアやがん相談等様々な要件を満たす必要がある。 * 診療所に病院と同じ機能を求めるのは困難ではないか。   ⇒ 引き続き、本部会で検討。  **２．第３期大阪府がん対策推進計画におけるアクションプラン及びPDCA進捗管理**  （１）第３期アクションプラン  ⇒ 承　認  （２）平成30年度の取組状況（PDCA進捗管理）  ≪主な意見≫   * 相談支援センターの認知度がまだ足りていない * がん教育について医療機関、大阪府、教育庁と連携できる場が必要では　等   **【委員名簿】**※は部会長（50音順、敬称略）   |  |  |  |  |  | | --- | --- | --- | --- | --- | | 氏　名 | 出欠 | | | 職　　名 | | 第１回 | 第２回 | 第３回 | | 飯島　正平 | ○ | × | ○ | 地方独立行政法人 大阪府立病院機構  大阪国際がんセンター　緩和ケアセンター長 | | 井上　法子 | ○ | ○ | ○ | 地方独立行政法人 大阪市民病院機構  大阪市立総合医療センター　地域医療連携センター | | 木村　　正 | × | ○ | ○ | 国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 病院長 兼  産科学婦人科学　教授 | | 小切　匡史 | ○ | ○ | ○ | 大阪府公立病院協議会 会長 | | 佐々木　洋 | ○ | ○ | ○ | 一般社団法人 大阪府病院協会 会長 | | 高澤　洋子 | ○ | ○ | ○ | 一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会 副会長 | | 所　　昭宏 | ○ | ○ | ○ | 独立行政法人 国立病院機構 近畿中央呼吸器センター  心療内科科長 | | 中尾　正俊 | ○ | ○ | × | 一般社団法人 大阪府医師会 副会長 | | 中村　弘子 | ○ | ○ | ○ | がん患者団体協議会　水琴窟の会　代表 | | 馬場　武彦 | ○ | ○ | ○ | 一般社団法人　大阪府私立病院協会　副会長 | | 東山　聖彦 | ○ | × | ○ | 地方独立行政法人　大阪府立病院機構  大阪国際がんセンター　副院長 | | ※ 松浦　成昭 | ○ | ○ | ○ | 地方独立行政法人　大阪府立病院機構  大阪国際がんセンター　総長 | |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **がん登録等部会**  **【主な審議・検討内容】**   * **平成３０年１２月１８日**   **１．大阪府がん登録の情報提供**  （１）がん登録法第24条に規定する都道府県知事の権限及び事務の委任  ≪概要≫  がん登録情報の利用・提供等に係る都道府県知事の権限及び事務を大阪国際がんセンターがん対策センターに委任。  ⇒ 承　認  （２）大阪府がん登録情報の提供に係る審議会の運営  ≪概要≫  がん登録情報の提供に係る審査を行うため、がん登録等部会は原則月１回の開催とする。ただし、利用申出の状況や申出の内容に応じ、その都度判断。  ⇒ 承　認  **２．第３期大阪府がん対策推進計画におけるアクションプラン及びPDCA進捗管理**  （１）第３期アクションプラン  ⇒ 承　認  （２）平成30年度の取組状況（PDCA進捗管理）  ≪主な意見≫   * がん登録において蓄積されたデータを、患者（特に希少がん患者等）に適切に提供・還元していく体制づくりを進めるべき。   **【委員名簿】**※は部会長（50音順、敬称略）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 氏　名 | 出欠 | 職　　名 | | 上田　健介 | 〇 | 学校法人近畿大学大学院法務研究科　教授 | | 記虎加代子 | 〇 | 旭区がん患者と家族支援の会　理事 | | 小切　匡史 | 〇 | 大阪府公立病院協議会　会長 | | 中尾　正俊 | × | 一般社団法人大阪府医師会副会長 | | 松村　泰志 | 〇 | 国立大学法人大阪大学大学院医学系研究科情報統合医学講座  医療情報学研究室　教授 | | * 宮代　　勲 | 〇 | 地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター  がん対策センター所長 | |
| **小児・AYA世代のがん対策部会**  **【主な審議・検討内容】**   * **平成３１年２月２１日**   **１．第３期大阪府がん対策推進計画におけるアクションプラン及びPDCA進捗管理**  （１）第３期アクションプラン  ⇒ 承　認  （２）平成30年度の取組状況（PDCA進捗管理）  ≪主な意見≫   * がん登録を用いてAYA世代の疾患別診療施設を調査し、AYA世代への支援の仕方を考えていくのがよいのではないか。 * AYA世代への就学・就労を含む支援については、がん診療拠点病院の相談員への研修会等を実施して各施設で対応してもらう必要がある。 等     **２．小児がん患者家族支援**  （１）小児がん患者家族ニーズ調査結果の報告  ≪概要≫  府内小児がん連携施設９施設に対し、アンケート調査を行い、相談支援・情報提供・きょうだい支援・家族支援等に対するニーズが明らかになった。  ≪主な意見≫   * 調査協力施設に調査結果を返却し、各施設において医療の質の向上を促す。   （２）大阪府における具体的な支援案  ≪概要≫  調査の結果を基に大阪府で検討した具体的な支援策について提示した。   * 大阪がん・生殖医療ネットワークと連携し、年代別の生殖機能温存に関する リーフレットを作成。 * 親が患児と面会中に兄弟姉妹が過ごす場所を確保するための整備補助 等   ≪主な意見≫   * 若年がん患者生殖医療温存に関する助成金の検討。   **【委員名簿】**※は部会長（50音順、敬称略）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 氏　名 | 出欠 | 職　　名 | | 井上　雅美 | 〇 | 地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター  血液・腫瘍科 主任部長 | | 上田　崇志 | 〇 | 公益財団法人 がんの子どもを守る会 事務次長兼大阪事務所長 | | 多田羅竜平 | 〇 | 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター  緩和医療科部長 | | 中田　佳世 | 〇 | 地方独立行政法人 大阪府立病院機構  大阪国際がんセンターがん対策センター　政策情報部 リーダー | | 橋井　佳子 | 〇 | 国立大学法人 大阪大学 大学院医学系研究科  内科系臨床医学情報統合医学講座　小児科学講師 | | ※ 原　　純一 | 〇 | 地方独立行政法人 大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター副院長 | | 森口　久子 | 〇 | 一般社団法人 大阪府医師会理事 | |
| **肝炎肝がん対策部会**  **【主な審議・検討内容】**   * **平成３１年２月２８日**   **１．大阪府肝炎専門医療機関及び肝炎協力医療機関の指定等**  ≪概要≫  新たに肝炎専門医療機関の申請があった２施設、同協力医療機関に申請があった７施設等について審議。  ⇒ 承認  **２．「大阪における肝炎専門医療機関および肝炎協力医療機関について」の改正**  【資料１－３】【資料１－４】  ≪概要≫  肝炎専門医療機関の指定要件について、肝炎医療コーディネーターの配置を義務化するなどの改正を行う。  ≪主な意見≫   * 肝炎専門医療機関の指定要件に記載の「Ｃ型慢性肝炎」を「Ｃ型肝炎ウイルス感染者」に変更すべき。 * 肝炎医療コーディネーターの配置情報（場所、部署、職種など）を公表すべき。   ⇒ 「Ｃ型慢性肝炎」の表記も含め改正することで承認。  **３．肝炎専門医療機関の現況報告について**  ≪概要≫  平成29年度における肝炎専門医療機関の診療実績等の結果を報告。  ≪主な意見≫   * 調査結果を各施設に返却し、さらなる医療の質の向上を促すべき。   **４．肝炎フォローアップ事業**  （１）肝炎等克服政策研究事業を利用した大阪府における肝炎フォローアップ事業  ≪概要≫  平成29年度における精検未受診者への受診勧奨及び治療状況調査の結果を報告。  （２）肝炎ウイルス検診の制度管理について  ≪概要≫  府及び市町村で実施した肝炎ウイルス検査の受検者、判定結果、精検結果等を報告。  ≪主な意見≫   * 精密検査受検後等に、定期的な検査が必要とされた方が重症化しないよう、定期検査に係る費用の助成をぜひともお願いしたい。 * 精密検査未受検者に対し助成制度を通知し、専門医療機関への受診を積極的に促していただきたい。 * 市町村ウイルス検診の陽性者が初回精密検査受検につなげるよう、ぜひとも市町村との連携を密にお願いしたい。 * Ｃ型肝炎ウイルスが消えても発がん性は残るので、定期的に経過を見る必要がある。ウイルスの消失が治療の終了ではなく、そこから長く経過を見ていくのがフォローアップとなっていかないと本当の意味のがん撲滅にはなっていかないと思う。   **５．第３期大阪府がん対策推進計画におけるアクションプラン及びPDCA進捗管理**  （１）第３期アクションプラン  ⇒ 承　認  （２）平成30年度の取組状況（PDCA進捗管理）  ≪主な意見≫   * 肝炎ウイルス検査を実施している医療機関一覧を府ホームページに掲載しているが、市町村の広報誌等にも掲載すべき。 * 肝がん・重度肝硬変患者研究促進事業に係る医療費助成制度について、患者やその家族がわかりやすいような啓発、説明パンフ等を病院に備え付けるとともに、病院の説明担当の方にもＰＲをお願いしていただけたらありがたい。   **【委員名簿】**※は部会長（50音順、敬称略）   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 氏　名 | 出欠 | 職　　名 | | 今井　康陽 | × | 一般社団法人 大阪府病院協会 副会長 | | 片山　和宏 | × | 地方独立行政法人 大阪府立病院機構  大阪国際がんセンター 副院長 | | 河田　則文 | ○ | 公立大学法人 大阪市立大学 大学院医学研究科  肝胆膵病態内科学 教授 | | 阪上　伸二 | ○ | がん患者団体競技会「大阪肝臓友の会」運営委員 | | 關　　壽人 | ○ | 関西医科大学 総合医療センター 副病院長 | | ※ 竹原　徹郎 | ○ | 国立大学法人 大阪大学 大学院医学系 研究科消化器内科学 教授 | | 中尾　正俊 | × | 一般社団法人 大阪府医師会 副会長 | | 馬場　武彦 | × | 一般社団法人 大阪府私立病院協会 副会長 | | |